

平成 25 年 11 月 15 日
日本原燃株式会社
東北電力株式会社
東京電力株式会社
リサイクル燃料貯蔵株式会社

(公財) 地震予知総合研究振興会
平成 25 年度 第 2 回
下北半島東部の地質構造に関する検討委員会

概要報告

1. 日時 平成 25 年 10 月 31 日 (木) 13:30～16:20

2. 場所 如水会館 富士の間 (3 階)

3. 出席者

主査	千葉大学 名誉教授	伊藤 谷生 (構造地質)
委員	山口大学大学院 教授	金折 裕司 (構造地質)
	海洋研究開発機構 グループリーダー	高橋 成実 (地殻構造)
	高知大学 特任教授	徳山 英一 (海洋地質)
	産業技術総合研究所 チーム長	阿部 信太郎 (地殻構造)

(敬称略)

事業者 東北電力株式会社 東京電力株式会社
日本原燃株式会社 リサイクル燃料貯蔵株式会社
事務局 公益財団法人 地震予知総合研究振興会

4. 議題

- (1) 第 1 回議事録確認 (事務局)
- (2) 第 2 回検討委員会への主な話題提供について (事業者)
- (3) 大陸棚外縁断層及び周辺の地質構造 (事業者)
- (4) 太平洋側海域の層序の考察 (事業者)
- (5) その他 (事務局)

5. 配布資料

資料 1 平成 25 年度 第 1 回 議事録 (案)
資料 2-1 第 2 回検討委員会への主な話題提供について
資料 2-2 大陸棚外縁断層及び周辺の地質構造
資料 2-3 太平洋側海域の層序の考察
資料 2-4 参考資料集

6. 議事概要

主査の議事進行により、第1回検討委員会の議事録の確認がなされた後、事業者から以下2項目について話題提供があった。

- ・大陸棚外縁断層及び周辺の地質構造
- ・太平洋側海域の層序の考察

今回の検討委員会では、平成25年9月までに実施した地質構造調査結果のうち、太平洋側の海上音波探査、海底地形面調査結果および採泥調査結果の分析結果について事業者より説明があり、事業者としての考察についても併せて説明があった。これに対し、各委員からデータ解析における留意点や結果の解釈に対するコメントが述べられた。

各委員からの主なコメントは以下の通り。

- 海上音波探査データおよび海底地形面調査データの処理、解析については、積極的に新しい評価手法を試みていくことが重要である。
- 大陸斜面の第四系更新統の地質構造解釈（Bp/Cp 層境界の連続性）について、海上音波探査の速度構造解析結果を踏まえて検討を深める必要がある。
- 下北半島沖における重力分布図と今回の海上音波探査結果から得られた地下深部の地質構造解釈との対比を行い検討すること。
- 今回の調査結果を踏まえて、大陸棚外縁の急斜面基底部付近の新第三系中新統の地層（E 層、F 層）の分布についての妥当性が高まったものと考えられるが、その地質構造について検討を深めること。
- 採泥調査により、大陸棚及び大陸棚外縁部から新第三系中新統に相当する試料が数多く得られたことは大きな成果である。
- 大陸棚上に新第三系鮮新統以浅の地層（Bp 層、Cp 層、Dp 層）が分布しない根拠について整理すること。

以上